

住み慣れた地域にずっと暮らす

国は日常生活圏域（中学校区）で高齢者を支援、介護する「地域包括ケア」政策を進めています。そんな中、自宅に住み続けたいと希望する方が毎月定額で利用できる「看護小規模多機能型居宅介護」が注目されています。

文・安楽由紀子 写真・東幹子

ごく普通の2階建てコーポの1階。扉を開くと、まるで近所の寄り合い所のように。お茶を飲みながら、テレビを見たりおしゃべりしたり。寄り合い所と違うところは、奥にベッドがあり、介護スタッフがたんの吸引などを行っているところです。

ここは、東京都調布市にある、看護小規模多機能型居宅介護「ケアホーム希望」。要介護度が高く医療的なケアが必要な方の状況や必要に応じて「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」のサービスを組み合わせ、臨機応変に対応する在宅介護サービスです。代表の金沢二美枝さんは次のように語ります。

「定員は29人で、利用者の平均要介護4、平均年齢は85歳です。利用者には、認知症やパーキンソン病、糖尿病、脳梗塞後遺症、誤嚥性肺炎等の病を抱えています。病院では寝たきり状態、かといって在宅で介護をするには家族の負担が大きく、どこにも行き場がない方に対し、在宅生活を維持しながらターミナルケアまで行っています」

レベルの高い人材確保が鍵

このような看護小規模多機能型居宅介護は全国で200事業所以上ありますが、経営の難しさも指摘されています。金沢さんは次のように分析しています。

「このホームでは改修費は極力抑え、その分、余裕を持って人件費に回していますが、お金をかけて設備投資してしまうと厳しいでしょう。また、医療ケアができる介護スタッフ、24時間常駐できる看護師と人材確保も必要です」

「ケアホーム希望」では、介護スタッフはベテランばかり、金沢さんは看護師で、このコーポの2階に住んでいるのでうまくいっているようです。このようなホームを増やそうと、厚生労働省や自治体の視察が多いようです。

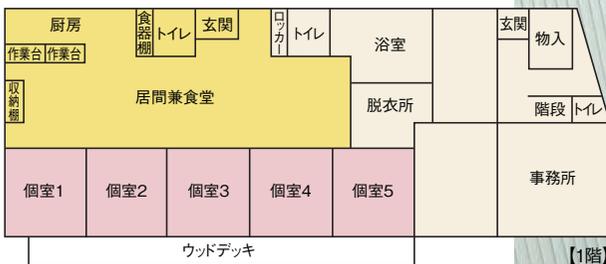
コーポの1階の壁を取り払ってリフォームされた室内。目が行き届く広さで、家庭的な雰囲気です。2階には「訪問看護ステーション」とケアマネジャーが働く「居宅介護支援事業所」があります。24時間年中無休で、いざという時にも対応可能です



いつも同じスタッフがケアを行うので、みなさん打ち解けています



泊まりの部屋は5室。医療ケアを行うスタッフが常駐しています。小規模、かつ地域密着型です



自己負担額（1カ月の定額費用）

要介護1	1万3365円	※別途、宿泊費は1泊2000円。その他、食費や雑費等の実費負担あり。
要介護2	1万8701円	
要介護3	2万6289円	
要介護4	2万9816円	
要介護5	3万3726円	

株式会社つづけ丘在宅総合センター
看護小規模多機能型居宅介護「ケアホーム希望」
〒182-0006 東京都調布市西つづけ丘2-19-6 第三コーポ横田1F
☎03-5315-5582 <http://www.tsutsuji.co.jp/>